

ユネスコにおける慰安婦論争の 現状と展望

ユネスコの「世界の記憶」では、日本軍慰安婦アーカイブ登録申請について、異なる意見のグループ間での対話が求められています。一方は「慰安婦＝性奴隷」とする韓国を中心とした国際連帯グループ。もう一方は「性奴隷ではない」とする私共のグループです。

「世界の記憶」制度は、2015年に南京大虐殺を登録しました。今年、韓国の李在明大統領は公約で「国家次元での日本軍慰安婦記録物のユネスコ世界の記憶登録を推進」と発表しています。



ユネスコにおける歴史問題は、日本国と日本国民の名誉にかかわる問題となっています。この難しい状況の下での私共の対ユネスコ活動にご理解とご協力をいただきたく、報告会を開催することとなりました。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

[場所] 文京区シビックホール会議室1 (文京シビックセンター・3階)

東京都文京区春日1-16-21

アクセス：東京メトロ丸ノ内線・南北線後樂園駅直結
都営地下鉄三田線・大江戸線春日駅直結
JR中央線・総武線水道橋駅徒歩約10分

[日時] 2025年12月3日(水)

受付13:30～ 開会14:00 閉会16:00予定

[プログラム]

- ◆ 基調報告 小山和伸 代表
「これまでの経緯と現状およびこれからの動向」
- ◆ 特別報告 石井竜生 (推理作家)
「ユネスコに登録された南京大虐殺の嘘を暴く！最新情報」
- ◆ 国民の会 幹事リレートーク
- ◆ 質疑応答・問題提起・自由討論

* 会員参加費無料 / 一般参加千円 / ご寄付歓迎

* 事前申し込み不要ですが、参加される方はご一報いただければ幸いです

* 懇親会を17時より会費5千円で予定しています。参加希望の方は事前にご連絡ください。

[主催] ユネスコ「世界の記憶」を考える国民の会

[連絡先] メール 10.12unesco@gmail.com

電話 03-6912-0047 (「新しい歴史教科書をつくる会」気付 担当：松岡)